

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2010-154526(P2010-154526A)

【公開日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-027

【出願番号】特願2009-279630(P2009-279630)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/18 (2006.01)

H 0 4 B 5/02 (2006.01)

H 0 1 Q 1/50 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/18 A

H 0 4 B 5/02

H 0 1 Q 1/50

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月19日(2012.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遠隔伝送装置の固定局(2)に誘導結合されたアンテナ(3)と、  
前記アンテナの端子に並列に接続された可変負荷インピーダンス(Z)と、  
前記アンテナ(3)の端子の一方に接続された入力を有する整流器(5)と、  
前記整流器(5)の出力と前記可変負荷インピーダンス(Z)の制御端子との間に接続され、前記可変負荷インピーダンス(Z)の端子の電圧を制御するように構成された利得制御ループであって、

セットポイント電圧( $V_{setpoint}$ )と前記整流器(5)の出力電圧( $V_{db}$ )との間の差を表す第1の信号(Err)を生成するように構成された回路(7)と、

前記第1の信号(Err)をデジタル信号に変換するように構成された1ビットのアナログ・デジタル変換器(8)と、

前記第1の信号を表す第2の信号に応じて可変利得を供給するように構成された利得制御手段(10)と、

前記1ビットのアナログ・デジタル変換器(8)の出力に結合された第1の入力と、前記利得制御手段(10)の出力に結合された第2の入力(M)と、前記可変負荷インピーダンスの前記制御端子に結合された出力とを有する積分器タイプの利得指令手段(9)と

、  
が順次接続された、利得制御ループと、

前記1ビットのアナログ・デジタル変換器(8)の出力から前記デジタル信号を受信するように接続された復調手段(7)と、

を備える携帯オブジェクト。

【請求項2】

前記第2の信号が前記第1の信号(Err)である、ことを特徴とする請求項1に記載のオブジェクト。

【請求項3】

前記第 2 の信号が前記デジタル信号である、ことを特徴とする請求項 1 に記載のオブジェクト。

【請求項 4】

前記利得制御手段 ( 1 0 ) が前記第 2 の信号の時間積分のための手段を含む、ことを特徴とする請求項 3 に記載のオブジェクト。

【請求項 5】

前記第 1 の信号を遮断するように構成され、前記 1 ビットのアナログ・デジタル変換器 ( 8 ) と、前記第 1 の信号 ( E r r ) を生成するように構成された前記回路との間に配置された遮断手段と、

前記 1 ビットのアナログ・デジタル変換器 ( 8 ) の入力に周期信号を印加する手段と、を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか記載のオブジェクト。

【請求項 6】

前記整流器 ( 5 ) は、前記アンテナ ( 3 ) の端子に並列に接続されている、ことを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか記載のオブジェクト。